

研究課題名	大腸腫瘍に対する NBI 拡大観察と NBI 浸水下非拡大観察の診断一致度の検討
研究期間	2026年 3月 27日 ～ 2030年 3月 31日
研究の対象	2025年 6月 1日 ～ 2026年 4月 30日に広島大学病院で大腸内視鏡検査を施行し、大腸にポリープや腫瘍が見つかり、その検査の際に、通常の NBI 拡大観察と浸水下 NBI 観察の両方が行われた方。
研究の目的・方法	研究目的：この研究は、大腸内視鏡検査の際に浸水下観察と通常の拡大観察で得られる画像を比べることで、浸水下観察が拡大観察と同様の診断が可能か明らかにすることです。 研究の方法：当院で大腸内視鏡検査を受けた方の診療録（カルテ）に記録されている内視鏡画像や検査情報を用いて解析を行います。具体的には、通常の拡大観察と浸水下観察で撮影された画像を比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：内視鏡画像・診療情報（病変部位，肉眼型，病変径，観察方法（拡大または浸水下），画像データ識別番号） 情報の管理責任者：大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2026年 3月 27日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎  研究機関の長 広島大学理事 田中純子
その他	本研究に用いられた情報は、将来別の研究に利用する可能性があります。これを二次利用と言います。 二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。 その際は、広島大学情報公開ホームページ（ <a href="https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx">https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx</a> ）へ、その情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡	研究に情報が用いられることについて、ご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。

先・お問合せ先	<p>お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 内視鏡センター 担当者：田中 秀典 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5193</p>
---------	--